

## 平成 22 年度 長崎県立北松西高等学校学校関係者評価 報告書

### 1 評価の実施期日・場所

<中間> 平成 22 年 7 月 30 日(金) 長崎県立北松西高等学校「校長室」

<最終> 平成 23 年 2 月 24 日(水) 長崎県立北松西高等学校「校長室」

### 2 学校関係者評価委員

	氏 名	学校評議員との兼務	当日の出欠
1	高 橋 正 彦	有	2 日とも出席
2	松 永 澄 江	有	2 日とも出席
3	藤 松 英 一	有	2 日とも出席

### 3 学校関係者評価の内容

#### (1) 自己評価の結果について

「生徒数は減少しているが、何事にも全員が一丸となって取り組み、まとまりがある」や「地域での生活も落ち着いていて、あいさつもよくしてくれる」などの意見が出され、結果的に「評価及び成果と課題も適切な内容である」との意見であった。

#### (2) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善策について

本年度卒業生の進路状況の説明に対して、素晴らしい結果であるとの意見をいただいた。また、「インターンシップ等の教育活動は、本地区の生徒にとって貴重な経験になるので次年度も続けてもらいたい」や「大学進学等においても、基礎学力が大事であるので、学力向上のための取り組み内容を今後も続けてもらいたい」との意見が出された。さらに、「部活動などで先輩後輩の関係を身に付けてもらいたい」との意見もあった。

県(労働局)主催のジュニア・インターンシップ制度の活用を予定している。また、進路説明会・全学年全生徒を対象とした早朝及び長期休業中(夏期・冬期)の補習・学習会等の本年度の取組内容を、次年度も継続して実施する予定である。さらに、次年度は、新入生の早朝補習の開始時期を5月の連休明けに早める予定である。

昨年度から始めた春季休業中における新入生の体験入部を今年(3月下旬~4月上旬)も実施し、部活動の開始がスムーズになるようにする。

(3) 学校の重点目標や自己評価の評価項目について

「生徒が成長するには、学習においても生活においても、生徒自身のやる気が大事であり、保護者の適切な支えが必要となる」や「部活動を通して厳しさを経験させ、我慢する力を養うことが大事である」などの意見が出された。「評価項目・具体項目ごとに本年度の努力目標を踏まえた目標及び具体的方策が設定されており、適切な内容である」との意見であった。次年度の努力目標等についても、学校として基本的に本年度の内容を継続したい旨を伝えると、全委員が賛成であるとの意見であった。

(4) 学校運営の改善に向けた実際の取組について

連携型中高一貫教育入学者選抜に係る項目について、「合格者への学力確認テストは学力向上を図るには大事なことである」との意見が出された。

3月17日(木)、18日(金)に実施する新入生対象の合格者学力確認テスト(5教科)の結果を踏まえ、生徒一人ひとりに春休みに取り組む学習内容を教科ごとに伝える。

小中高一貫教育の現況を保護者及び地域に広く理解してもらうため、平成23年6月24日(金：19:30～21:00)に『地域説明会』を小中高及び町教委合同で実施する。内容は、一貫教育の概要説明、卒業生のその後などを予定している。